

令和2年度 穂積中 学校経営方針

令和2年4月1日 校長 伊藤雅生

穂積中っていい学校やよ。学校が落ち着いていて、みんなの先輩も、自分の目標に向かって、勉強や生徒会活動、部活動、毎日の生活に一生懸命頑張っている。そんな穂積中に進学できるみんなは本当によかったね。入学したら、安心して「新しい中学校生活」を頑張ろうな！…

学校の教育目標 「共生 自立」（そして「貢献」） キーワード：「安定」から勇気をもって次の1歩を！

【めざす生徒の姿】「穂積中で3年間学んだ卒業生が語った熱い思い」より

挑戦し続ける生徒	真剣に仲間と関わる生徒	全力で取組み続ける生徒	自ら考え行動する生徒
「今の自分」に満足せず、やる気と根性を持って、新しいことに挑戦できる	心底仲間を大切にし、互いに励まし、支え合いながら、成長していく	やると決めたことは、根気と粘りで最後までやり切ることができる	自分たちで問題を見つけ、アイディアを出し合い、現状を開拓していくことができる

穂積中職員の指導の構え

生徒一人一人にとことん寄り添い、生徒の「よさ」を見抜き、「自信」にまで高める指導の徹底！

学習指導～仲間と共に主体的に学び続ける授業～
○教科の本質を踏まえ、魅力・驚き・喜びを感じる授業づくり
・毎時間の授業の教材・教具の工夫・開発
・生徒が学ぶ必然のある「課題」設定
・授業の役割(評価規準)に応じた学習活動づくり
・「習得」と「学び合い」のメリハリがある授業
・深い学びを生み出す主体的・対話的な授業構想
・小学校での学びとつながり、基盤となる学び方の定着
・家庭学習と授業とのリンク(主体的な学びの継続)

「めざす生き方」の追求

ゆるぎない

- ◇人権教育(穂中共生宣言)の一層の推進
 - ◇「道徳の時間」の一層の充実
 - ◇朝・帰りの会の意図的・継続的な指導
 - ◇学年組織で生徒を支え・育てる指導
- 「学力・成長・進路」の保証
人間関係の構築基盤挨拶啓発
生きる基盤となる体力の向上

学級経営・生徒会指導 ~生徒から学び・生徒と共に動く~

- 教師も共に活動し、褒める・認める・広げる
・「生徒の願い」から活動を生み出し、全員で取組ませ、最後までやりきらせる。
- ・停滞やトラブルが指導のチャンス！生徒の意識を捉え、意図的・計画的な指導を打つ。
- 学校・学級生活を生徒たちの手で向上させる
・穂中「共生宣言」の周知と広がりへの指導。
・生徒会による活動の企画・運営・振り返りのシステムを学ばせ、教師が出なくとも、主体的に動ける力を！

どの生徒にとっても
安全・安心で、居場所のある学校

教育相談の充実 ▶ いじめ・不登校早期発見・早期対応 ◀ 組織で動く

明るく前向きに 「積極的な生徒指導」 に徹する職員集団

保護者・地域の方の願いを受けとめ、共に生徒一人一人のよりよい未来を拓く学校！
《コロナ・熱中症対策、防災教育の推進←生徒に「自分の命は自分で守り切る」力を付ける学校》